

長寿会新聞

ふれあい

発行
平群町会
長寿会
ふれあい
情報部

令和元年度
各賞受賞の決定続々！

長寿会連合会 会長 岡 嘉道

令和元年度の県知事表彰に、一個人が、全老連会長表彰に一地区長寿会が、県老連会長表彰に五地区長寿会の受賞が決定いたしました。

この様に、一年間に合計七つの賞を受賞することは極めて珍しいことであり、受賞した地区長寿会と皆様方の平素からのご努力と活発な事業活動に敬意と感謝を申し上げるとともに、心よりお慶びを申し上げます。

① 県知事表彰

老人福祉功労者

岡 嘉道連合会会長が受賞

平群町が奈良県に「老人福祉功労者」の申請をしていた、連合会会長の岡 嘉道に県知事表彰が決定したとの伝達がありました。

長年老人クラブの育成指導並びに高齢者福祉の向上に貢献した者に与えられるもので、平群町長寿会連合会の長年に亘る活発な事業活動が評価されたものと思ひ、ご同慶に堪えません。

9月12日奈良県庁において表彰式が執り行われ、「表彰状」を頂いてまいりました。

② 全老連会長表彰

会員増強「特別賞」

緑ヶ丘長寿会（奥田徹会長）受賞

五年間に亘って行われた「一〇〇万人会員増強運動」の締めくくりに年度で、緑ヶ丘長寿会が「特別賞」を受賞しました。

五年間一度も新規会員獲得数がマイナスにならず、かつ、五年間の累増が47名で連合会トップを守った。

吉新長寿会

会長 中本 明盛

吉新は、380世帯850人が10班に分かれています。

平群駅西地区整備事業で多くの家が転居され、班の世帯数も10→45、長寿会会員も1→15名となり、班によって大きな開きが生じています。

長寿会連合会 会長 岡 嘉道

授賞式は11月27日（水）第48回全国老人クラブ全国大会（埼玉県さいたま市）で開催されますので奥田会長には、遠方までご足労をおかけしますが名誉なことでありますので授賞式にご出席をお願いいたします。

③ 県老連会長表彰

(1) 会員増強「特別賞」

樺台長寿会（中戸資祝会長）受賞

一〇〇万人会員増強運動で樺台長寿会が「特別賞」を受賞しました。会員増強運動最終年度の新規獲得者数が29名で連合会トップ、かつ五年間累増が13名で第2位を確保した。

授賞式は、10月30日県老連指導者研修会（県社会福祉総合センター）

(2) 会員増強推進賞

御陵苑長寿会（田辺幸雄会長）

西宮長寿会（西畑茂郎会長）

初香台長寿会（木津照雄会長）

光ヶ丘長寿会（松本博行会長）が受賞

会員増強運動最終年度の年増がプラスで、かつ、五年間の累増も若干なりともプラスを維持した。

授賞式は、10月30日 県老連指導

あり、班や自治会、地域の活動や行事等が課題になっています。

長寿会は月例会で、食事会やビンゴゲーム、長寿会の新舞踊クラブや伝承交流クラブとの交流、町人権協の懇談会も実施し、昨年度は悪質商法のビデオ視聴、振込め詐欺等の実態や対応等について話し合い、有意義な時間になっています。

者研修会（県社会福祉総合センター）の席上で受賞予定です。

なお、全老連が行った「一〇〇万人会員増強運動」は、結果として20万人近い会員減に終わってしまいました。また、当連合会も残念ながら五年間の純増はマイナス5名に終わってしまい、会員増強の難しさを今更ながら痛感させられています。

当連合会としても、今回受賞された6地区長寿会の頑張りに感謝して、合同受賞祝賀会を11月2日11時から「かしのき荘」に於いて会費1,000円で開催します。当該地区の皆様方の大勢のご参加をお願いします。

ニッセイ財団
生き生きシニア活動
で顕彰される

緑ヶ丘長寿会

生き生きライフクラブ
部長 民谷 俱子

緑ヶ丘長寿会の「生き生きライフクラブ」では、昨年11月に「ニッセイ財団生き生きシニア活動顕彰」に応募していましたが、この度顕彰されることになり、7月12日奈良県庁に於いて贈呈式、活動の発表、懇親会が行われました。

これは、日頃の活動が認められたものとしてクラブ員一同大変光栄で喜んでいきます。

この緑ヶ丘地域で安心して、楽しく参加できるクラブをと設立した経緯があります。近隣の仲間づくり・健康づくり・楽しい集い・多彩な取り組み・趣味を活かした活動・貢献できる地域活動を通して日常生活が豊かになるクラブを目指して日々取り組んでいます。

（活動内容については、「ふれあい新聞」2月号に掲載）
これを励みとして、これから活動がより一層充実したものとなるよう取り組んでいきたいと思っています。

本に思う

三里長寿会 森 治子

宮前様「百歳を目標に自分流に生きる」を上梓され、おめでとうございます。興味深く読ませていただきました。先達の歩いてこられた道程を少しでも知ることによって、わたくしの生きていくうえでの助けになると思っています。

「定年退職後、第二の人生」の章に私も定年退職後の生き方を模索していることもあって、関心を持ちました。仕事を精一杯やってきて、定年を迎えた後の人生をどう過ごすか、高齢化社会の今、問われています。

著者は「何をするにも健康でないと進まない」と、体操を鏡の前で続けておられるとのこと、強い意志に、私のようなサボリ屋さんは大いに反省しました。

大事なことは、一つ目は目標を持つこと、二つ目はそれに挑戦すること、三つ目は諦めないこと、四つ目は連携が大事と述べられています。

私もこの言葉を胸に刻んで、これからの人生に生かそうと思います。かしのき荘の仲間の皆様が、この本を手にとられることをお勧めします。

編集部から

宮前様から寄贈いただいた自分史の「本」5冊は「かしのき荘」1階の公衆電話機脇に置いてあります。



甘辛口

今月、「スマホデビュー」した。スマホは必要ないと思っていたが4年間使用していたガラケーが故障してやむなくスマホの購入となった。スマホは、2008年7月誕生、以降急速にスマホの普及率は伸びてきた。2019年9月登場するのが最新型「iPhone」はトリプルレンズカメラ、有機ELディスプレイが目玉として予想されているとのこと。2019年2月のスマホの利用率は全体で85%を超え、ガラケーの利用率は2013年7月にわづか17.9%だったスマホ普及率が20

19年2月では普及率は4倍近い68.5%まで増えており伸び率が最も高いのは60代という。70代はスマホ普及率43%、ガラケー39%よりも多くなった。未所有者は18%だ。スマホの料金プランは各社とも複雑、最低でもガラケーの2倍以上、利用は電話、SMS、Eメール、ガラケーと同じだが最近プラスLINEで楽しんでいる。スマホは多機能で便利なのはたしかだが、安全対策や使い方を十分マスターすることが何より大事なことである。

1年10月度 老人福祉センター「かしのき荘」利用表

日	曜	集会室（2階）	和室（1）	小会議室(2) ロビー	会議室		小会議室（1）		新館・会議室	
					午前	午後	午前	午後	午前	午後
1	火	椿	台 将 棋		俳 句 健 康 部			わかばの会		
2	水	初 香	台 真向体操（午前）			短 歌	長寿会三役会 社 協		ア ロ ハ ヨ ー ガ	
3	木	カ ラ オ ケ ク ラ ブ 囲 碁	甚 くゆーあいサロン>				伝承交流部（手品研究）		健 康 麻 雀	
4	金	社	協 将 棋			編 物			太 極 拳 ウ ク レ レ	
5	土					健康有志			オ カ リ ナ 第 九	
7	月	櫻	原 囲 碁	甚		囲碁	小 筆		社 交 ダ ン ス 健 康 体 操	
8	火	若 葉	台 将 棋		長寿会本部役員会 詩 吟		長寿会女性部		コ ー ラ ス フォークダンス	
9	水	横 原 ・ 嶋 川			リフォーム手芸		グ ル メ からだとあたまの体操		ア ロ ハ	
10	木	緑 ケ 丘 囲 碁	甚		アートフラワー		和 歌 朗 詠 英 会 話		社 協 新 舞 踊	
11	金	社	協 将 棋		茶 道 絵 手 紙				長寿会理事会	
12	土	ふ れ あ い 活 動 部				健康有志		わかばの会	オ カ リ ナ	
15	火	月 見	台 将 棋		俳 句 折 り 紙		ローズタウン若葉台		健 康 麻 雀	
16	水	梨	本 真向体操（午前）			川 柳	楽 農		ア ロ ハ 長 寿 会	
17	木	カ ラ オ ケ ク ラ ブ 囲 碁	甚 くゆーあいサロン>			友 禪	伝承交流部（手品研究）		扇 剣 の 会 吹 矢	
18	金	社	協 将 棋			編 物	布あそび		太 極 拳 ウ ク レ レ	
19	土				友 愛 活 動 部	オ カ リ ナ		ふれあい情報部 わかばの会	ヨ ー ガ 第 九	
21	月	光 ケ 丘 囲 碁	甚			民 謡	健康推進委員会 社 協		社 交 ダ ン ス 健 康 体 操	
23	水	福 貴 ・ 若 井 ・ 越 木 塚				リフォーム手芸	日立団地		ア ロ ハ パ ソ コ ン	
24	木	下 垣	内 囲 碁	甚		アートフラワー	和 歌 朗 詠 英 会 話		コ ー ラ ス 新 舞 踊	
25	金	信 貴	畑 将 棋		茶 道		社 協		社 協 健 康 委 員 会	
26	土	ふ れ あ い 活 動 部				健康有志		ウ ク レ レ わかばの会	ヨ ー ガ 第 九	
28	月	吉	新 囲 碁	甚	小 筆 民 謡		四つ葉の会		健 康 体 操 社 交 ダ ン ス	
29	火	御 陵	苑 将 棋		俳 句 詩 吟				長寿会女性部会	
30	水	福 貴 畑 ・ 久 安 寺						社 協	扇 剣 の 会	
31	木	社	協 囲 碁	甚					吹 矢	

次回のふれあい新聞は10月29日（月）に印刷発行

※陶芸クラブは10月7日と21日（月）9：30～（ふれあい交流センター）

令和1年9月20日 現在

第102回 健康ウォーク

椿井城跡へ

副会長・健康部長 難波尊志

7月23日（水）9時過ぎから。参加者12名の受付を行い、準備体操後、定刻に出発。竜田川を渡り、東に向かい、大井手用水路を渡った左角に椿井線刻笠石仏（鎌倉時代中期）がある。ガイドさんの説明を受けた後、東に坂道を上がり、椿井井戸を経由して椿井城の登り口広場に着く。

昨夜の大雨の影響を配慮し、北側の道を登ることにする。参加者の手先に虫除けスプレーをかけ、備え付けの竹杖を借りて、南郭の頂上の西の広場を目指して歩き出す。昨夜の雨で出来た、雨水の流れ道（窪み）を避けて、道の脇を歩く。周囲の景色を眺める余裕も無く、重い足取りである。少し余分な時間を要したが、全員無事に頂上に到着。南郭の中央広場に移り、ガイドさんより、椿井城の由緒・特徴の説明を受ける。

この城の築造には諸説あるが、室町時代の中期（推定）に在地の土豪、椿井氏が矢田丘陵の南西端の山上に築造。その縄張りは、南北310m、東西110mに及び、北郭群と南郭群に分かれ、尾根上を5箇所の堀切で遮断し、郭、横堀、土塁、土橋を設けて、攻め難い構造を採った「連郭式山城」の特徴を示している。その内、今回登った南郭には郭3、堀切3、土塁1、土橋1が設けられている。山肌を巧みに加工したもので、石垣を持たず、土砂崩れ防止の石積みを僅

かに残すだけであるが、五百年前の城郭遺構が見られる現状に驚いている。

山上の爽やかな風に汗も乾いた頃になり、椿井井戸の登城口に向け出発。下山に安堵してか、少し下った所で、不覚にも濡れた枯れ葉に足を滑らし、転んで尻餅をついた。特に怪我はなかったが、同様な目に遭った方が他にもおられた。登山口に竹杖を返して、来た道に戻り、正午過ぎにプリズムめぐりに無事帰着、整理体操後解散。ガイドをしていたいただいた平群町観光ボランティアガイド協会山西代表には大変お世話になりました。

お詫びと訂正

編集部

◇9月号表面 3段10行目

正 社協・西本氏

誤 社協・井学氏

◇9月号裏面6段2行目

正 ホーホケキヨ椿の枝の

若鶯の姿を消して春も

深まる

誤 若鶯の・・・（2行目脱落）

以上のとおり、お詫びして訂正いたします。

「老人福祉功労者」彰を

受賞して

長寿会連合会会長 岡 嘉道

去る、9月12日(木)奈良県庁にお

いて令和元年度「老人福祉功労者」等表彰式が開催され、席上、小職が老人福祉功労者として、県知事より「表彰状」をいただきました。当日の受賞者は県下で15名おられました。長年老人クラブの育成指導並びに高齢者福祉の向上に貢献した者とのことですが、平群町長寿会連合会の長年に亘る活発な活動に対し与えられたものであり、私が代表して受けたもので、ご同慶の至りと思っております。これも偏に、本部役員ならびに会員皆様方のご支援とご協力の賜物で心より深く感謝申し上げます。お礼の言葉とさせていただきます。

お知らせ

健康部

◇健康ウォーク

・104回 10月22日（火）

・中央公民館 9時30分

・上山古墳、平群神社約5.5km

※午前中終了

※飲物、「手帳」、雨具持参

※7時前降雨予報40%以上中止

川柳クラブ

今回の題詠は「泳ぐ」

泳がされ稼いで戻る鵜の亭主

藤田 利治

政界を巧みに泳ぎ生き残る

宮崎多喜代

適当に泳がされると気付かぬか

左近 育子

七十年泳いできたが岸がない 高橋 秀尹
卒寿すぎ背泳ぎできてびっくりし 宮前 敏子
金魚すくい泳ぐ金魚がびくびくと 藪内 照香
転職を次々続ける処世術 山田 謙造
盆踊り泳いでいるよな金魚柄 阿部 裕子
人の世をカナヅチだけど泳いでる 井戸美恵子
遠浅を泳ぎ歩いた瀬戸の島 難波 尊志

「付度」は人の世泳ぐ必須技

大村 三郎

本当に？問い詰められて目が泳ぐ

松井 友博

織姫は逢いたさあまり泳ぎ来る

徳原 友子

祖父に子も孫も金槌情けない

浜崎 晴美

銭もなく三途の河原で水遊び

藤井 信夫

短歌クラブ（順不同）

白サギと黒サギ遊ぶ小池には波紋

輝らりとアートの世界 飯田 陽子

梅雨明けを待つかの蟬の大合唱き

ようを限りか八日目の朝

魚住 潤子

故郷の卒寿の姉の宅便の知覧茶飲めば母の香もする

大村 三郎

浄土宗「ともしび」講和目を通し

わが愚かさにとだ「ご称名」

小東 隆子

草むらに秋虫鳴いて耳澄ます鳴き

止むたびに夜の深まる

左近 育子

収穫を終えた里山秋深し楓や蔦で

麓いろどる

徳原 友子

杖つきて歩めることを幸として硬

き舗道に背筋を伸ばす

野木 宗信



椿台長寿会

浜崎 晴美

俳句クラブ

かしの木句会（順不同）

今月の兼題は、当季自由句です。

どこからとなくどこまでも花野かな

本谷 眞治郎

かなかなや面会終へて獄舎出づ

中川 克己

熊蟬や色の褪せたる仁王像

江崎 俊夫

戒名の朱の新しき墓洗ふ

野木 宗信

鱧切りの技も御馳走夏料理

岡本 豊子

烏賊釣火うみ鳥も来て波に揺れ

三船 忠志

川上に夕立ありてまくれ水

岩城 和子

秋風横切るやうに車椅子

花岡 安子

順調に水の流れて稲の花

乾 フジ子

水匂ふ穂立ち始めの田んぼ径

宮本 洋子

濁流のもんどり打って出水川

澤波百合子

・・・・・・・・・・・・・・・・

おくやみ

令和元年8月20日から9月19日

の間に左記の会員の方がご逝去

されました。

生前を偲び、謹んでご冥福をお

祈り致します。

浦野 佳子様（84） 越木塚地区

谷 栄子様（87） 春日丘地区

前川 禎二様（94） 三里地区

巽 重高様（92） 下垣内地区

平群町長寿会連合会